

気仙沼高等技術専門校

気仙沼高等技術専門校は2年課程の自動車整備科(定員15人)、1年課程のオフィスビジネス科(同15人)、6カ月課程の溶接科(同5人)という3科がある。溶接科ではガス溶接やアーク溶接などの技能を習得。オフィスビジネス科は事務系の資格取得に向けた学習を行う。鈴木一匡訓練班長は同校の強みとして「指導者と学生の信頼関係が強い」ことを挙げる。「指導者は本当に親身に指導しますし、学生も技能をしっかりと習得しようと一生懸命です」

自動車整備科を担当する白戸圭一主任指導員は、安全を何より優先する、という前提の上で、同科の特徴として「より現実に沿った学びを意識している」ことを挙げる。「点検の実習であれば、最後に点検内容を説明するところまでしっかりとシミュレーションさせます。今は整備士にも高いコミュニケーション能力が求められるので、各自動車メーカーの整備マニュアルを全て、各自割り当てられたパソコンで閲覧できる体制が整っていることも学生の成長を大いに後押ししている。企業に求められる人材を気仙沼校は輩出し続ける。

現実に沿った学びを意識し
企業が求める人材を育成



なりたい自分に、
しっかりと導いてくれました。

小さい頃はゲームをしたり、本を読んだりするのが好きな子どもでした。ゲームはロールプレイングや格闘物。本は日本史、特に幕末から明治期が好きで、熱中しました。高校に入って、ある漫画に出合って、自動車に興味を持つようになりました。自動車のデザインもそうだし、どうやればレース仕様になるのかといった、整備の面まで気になり、のめり込んでいきました。その体験が今につながっています。気仙沼校では同期が私を入れて8人いました。同じ高卒で入ったということもあり、すぐ仲良くなり、楽しく、面白い2年間を過ごせました。私は高校が普通科だったので、入校当初、工具を覚えるのが大変だった覚えがありますが、先生方の丁寧な指導で乗り越えることができました。社会人となって7年、お客様からもっと強い信頼を獲得し、より頼られる整備士になっていきたいです。

株式会社スズキ自販宮城 気仙沼営業所
〒985-0223 気仙沼市南郷2-3 TEL 0226-22-7242
<https://www.suzuki.co.jp/dealer/sj-miyagi/>



白戸主任指導員は「社会人になって生きるよう、実習は本番さながらの環境で行います」と話す
何より安全に配慮しながら、工具等の使い方を学んでいく
各メーカーの自動車ができる、様々なことを知ることを

気仙沼高等技術専門校

所在地/気仙沼市大崎山1-174 設置科概要/自動車整備科(2年)、オフィスビジネス科(1年)、溶接科(6カ月)を設置。それぞれ2級自動車整備士、簿記検定、ガス溶接技能講習修了証など資格取得に挑む。
TEL 0226-22-7068 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-kougi/>



石巻高等技術専門校

石巻高等技術専門校は、2年課程の自動車整備科(定員20人)、1年課程の金属加工科(同20人)、木工科(同10人)、6カ月課程の溶接科(同5人)、配管科(同5人)を設置、計5つの科がある。鈴木隆博校長は「なりたい仕事、そして企業に求められる技術の基礎を着実に身に付けてもらえるよう、どの科でも徹底しています」と同校の方針を語る。

木工科では様々な手工具、木工機械の扱い方を学び、建具や家具の作り方を習得する。石橋伸一朗主任指導員は「基礎をしっかり知り、その上で、どういう作り方があるかを身に付けられるよう、学生それぞれに合った指導を心掛けています」と話す。「完成品を作る機会は何度もあり、また、最後まで自分で作りますから、それが失敗だったのか、成功だったのかの評価も自分でしやすいです。いずれの経験も将来の糧になります」

同科は学生の年齢幅が広く、就職に加えて、オリジナルの家具を作りたいという目的で入校する人も少なくない。丁寧に細やかな指導が、学生の未来を明るくしてくる。

丁寧で細やかな対応で
学生のやる気を後押し

木工科修了(2001年度) 及川昌春さん Masaharu Oikawa

株式会社渡邊屋(色麻町)

仲間と楽しく学んだことが、
今の自分の礎になっています。

勉強よりは体を動かす方が好きなお子でもでした。中学生の時に、実家の離れの建て替えがあり、できあがるまでの変遷をつぶさに見ることができました。学校から帰ると、毎日その進捗具合を確認していて、その中で興味を引かれたのが建具でした。徐々に完成に近付いていく様子を見て、いつか、これを仕事にしたいと思うようになりました。そこで中学卒業と同時に石巻校の木工科に入りました。同期は年齢の幅が広く、私は最年少。人生の先輩方から、それこそいろいろなことを教えてもらいました。木工科で学んだことで今が一番役立っていると感じるのは、製図の見方を覚えられたことでしょうか。また、手工具の使い方、メンテナンスの仕方を知れたのも良かったです。36歳になりましたが、知識も技術も、これからもっと突き詰めていきたいと思えます。



一から家具や建具の作り方を学ぶ。仕上げの塗装まで実習を行う
チェストに取っ手を付ける学生に指示を与える石橋主任指導員(左)
石橋主任指導員は「1年間で木工の基礎と、何より楽しさを伝えてほしい」と語る

石巻高等技術専門校

所在地/石巻市門脇青葉西27-1 設置科概要/自動車整備科(2年)、金属加工科(1年)、木工科(1年)、溶接科(6カ月)、配管科(6カ月)を設置。多様な科を構え、社会からの様々な人材ニーズに応える。
TEL 0225-22-1719 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kougi/>



株式会社渡邊屋

加美郡色麻町高根字原畑 68
TEL 0229-65-4163 <http://wa-watanabeya.co.jp/>

